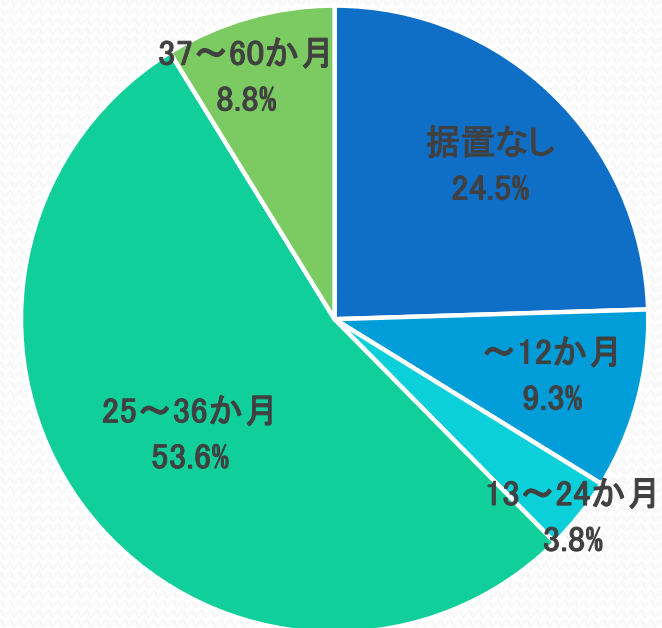


岐阜県信用保証協会 アフターコロナへの取組み R6.6.5

県コロナ対応資金 保証実績

	件数(口)	金額(百万円)
保証承諾 (R2.5~R3.5)	20,189	352,003
保証債務残高 (R5.12末時点)	12,630	176,151

県コロナ対応資金 返済据置期間割合(件数)



■ポストコロナサポート室の創設

令和4年2月、保証業務部内にポストコロナサポート室を創設しました。

県コロナ対応資金を利用する1万5千企業のうち、元金返済据置措置を行い、かつ保証付き融資が借入れの50%以上を占める4,2千企業を支援対象先として抽出。事業所を訪問の上で資金繰りや経営状況についてヒアリングを行い、必要となる支援を見極め、当協会による支援もしくは連携する支援機関へ繋げていくことを目的としています。

令和6年4、5月に返済を開始する企業が集中しており、資金繰りに不安を抱える経営者に寄り添った支援に力を入れています。

■主な支援の流れ

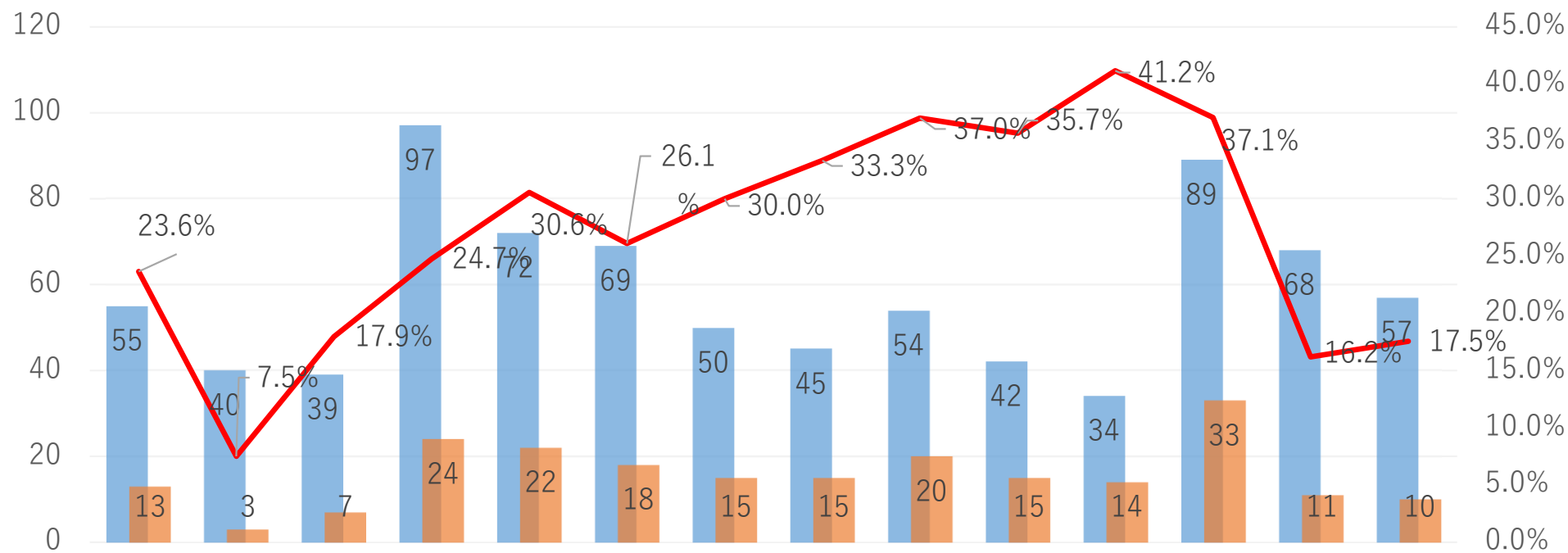
1. 融資金融機関の同行により企業を訪問し、経営者と面談
2. 企業の現状を把握(資金繰り等)
3. コロナ関連保証の約定償還の可否見通し確認
4. 必要に応じ経営課題解決に向けた支援、もしくは外部機関への引継ぎ支援を実施
5. 方針決定には、各部署の課長で構成する『サポート横断会議』を月2回開催して即断即決のスキームを構築

ポストコロナサポート室の訪問実績等

年月	訪問先企業者数	うち、返済開始懸念のある企業者数
累計	1,801	312(17.3%)

訪問後の連携・支援・対応詳細	企業者数
よろず支援拠点	75
ジンサポ	33
商工団体	13
引継ぎ支援センター	12
当協会支援メニュー	18
新規融資・返済緩和	285
累計	436

岐阜県信用保証協会 ポストコロナサポート室 活動報告



■ 訪問件数 ■ 資金繰り困難先 (件数) — 資金繰り困難先 (割合)